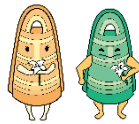


おいしい だより



大石まち協キャラクター
どうたくTWINZ
たつくん&ゆりちゃん

第59号

令和5年3月23日発行

発行 大石地区まちづくり協議会・大石コミュニティセンター
編集 広報紙編集委員会

坂井市春江町上小森 6-12 TEL/FAX(0776)72-0002
まち協ホームページ <http://www4.fctv.ne.jp/~ohishimk/>
大石コミュニティセンターアドレス ohishi-cc@city.fukui-sakai.lg.jp



まち協HPは
こちらから

大石地区の人口・世帯数		
(令和5年2月1日現在)		前号比
世帯数	1,385戸	-3
人口	4,019人	-14
男	1,981人	-5
女	2,038人	-9



門松づくり（教育・文化部会）

12月3日(土)、年末行事になっている門松づくりを行いました。昨年までは大石コミセンで実施してきましたが、今年度は、ゆりの里公園の農業用ハウスをお借りして行いました。今年度も講師は、(株)花市場の渡辺寛幸さんをお願いしました。ハウス内は寒さを感じましたが、きれいな正月飾りにしようと参加者19名は、寒さも忘れ熱心に取り組んでいました。

◆応急手当講習会

安心・安全部会 12/3(土)

嶺北消防署員 3 名が講師となり、15 名の方が参加し、講習を受けました。主な項目は、心肺蘇生法、AEDの使い方などで、初めての人は緊張気味に、講習経験のある人は思い出しながら練習していました。最後に、年始にかけて多い、餅などを詰ませたときの気道異物の除去方法の説明がありました。なおAEDは、大石地区にも設置されているところがありますが、土日、祝日、夜間など利用できない時間帯があります。3月上旬発行の「交通安全マップ」に設置場所を掲載しますので、ご確認ください。



◆シイタケ(にく丸)原木打ち込み

教育・文化部会 2/12(日)

募集は先着順30名でしたが、早々と定員に達するほど人気のある講座となりました。1メートルほどの長さの原木(クヌギ・コナラ・クリなどの木)が1人2本ずつもらえ、それぞれにシイタケ菌を植え込みました。まず、電気ドリルを使って1列6個×5列、計30個程の穴をあけ、そこにシイタケ菌の駒を木づちで打ち込みました。穴の深さが浅いと駒が入りきらないので、再度穴あけ作業をする場面が各所で見られました。シイタケを収穫できるまでには2年以上を要し、その保管については、十分な世話が必要との説明がありました。

風通しの良い日陰で、原木を乾燥させないことが大事だということでした。山林ではその管理は容易ですが、平地では管理に気を使い、特に夏の乾燥には十分注意する必要があります。



令和5年
大石地区区長会 役員を紹介します

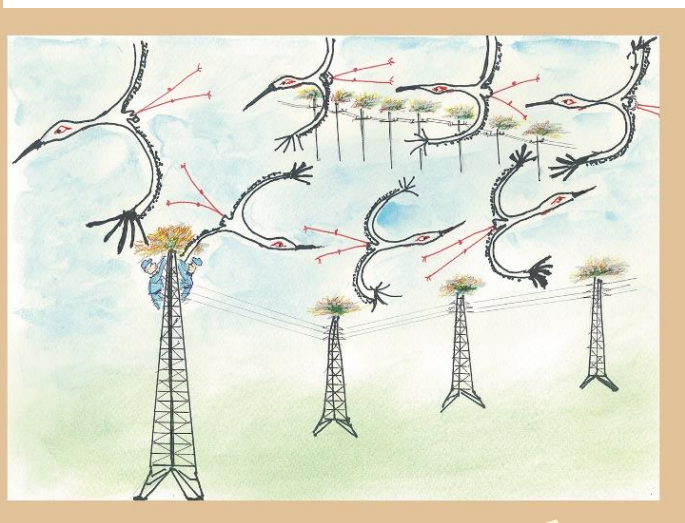
会長 井向区 岡部 恭典さん
副会長 西長田区 佐藤 浩治さん
副会長 布施田新区 南嶋 久邦さん

よろしくお願ひします

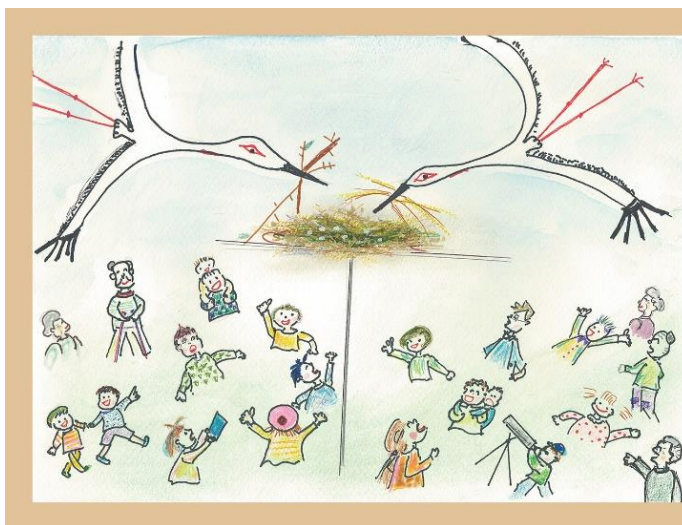
◆コウノトリの紙芝居作成

2019年、2羽のコウノトリが当地区にやってきて営巣し、4羽のひなが無事巣立ちました。これを題材にして、14枚の絵を元に紙芝居にしました。

作画・原稿は坂井市三国町の田島のり子さんです。



危ない！感電してしまうぞ！



村の人たちがにこにこ笑って手を振っているよ。

製作した紙芝居は、春江北幼保園、大石小学校、春江図書館に寄贈しました。

希望者には貸出しますので、大石コミセンまでお問い合わせください。



エサをとってきたぞ。腹いっぱい食べなさい。



◆交通安全マップ

安心・安全部会

大石地区で発生した交通事故の場所、事故形態をマップ上に示しましたので、今後の事故防止の参考にさせていただきたいです。

あわせて応急手当の12/3の講習会で使用したAEDの設置企業、公共団体などの情報も掲載しました。



現在、楠木が大きく成長し、「振姫終焉の地」は一幅の絵を思わせるような美しい情景を醸し出している。(芳)

昭和四十一年から始まった県営土地改良工事によって稲作地であった童子之城に境内にあった「けが石」と「馬つなぎ石」を移転し、「振姫終焉の地」の石碑は平成五年春江町と地元姫王地区によって建立された。

現在、楠木が大きく成長し、「振姫終焉の地」は一幅の絵を思わせるような美しい情景を醸し出している。(芳)

また、今から九十年程前の昭和四年に行われた耕地整理まで旧八字童子之城は、畑地で御堂があったという。ここがいわゆる姫屋敷跡すなわち、男大迹王(後の継体天皇)の母君である振姫の御屋敷と伝わる場所である。

昭和四十一年から始まった県営土地改良工事によって稲作地であった童子之城に境内にあった「けが石」と「馬つなぎ石」を移転し、「振姫終焉の地」の石碑は平成五年春江町と地元姫王地区によって建立された。

大石歴史探訪⑧

振姫終焉の地 (姫王)

姫王神社は、振姫を祀り、境内には振姫の御神

霊と仰ぐ神石と傍に孔のあいている小さい石が

あった。神石は、昔から触ったりまたいだりする

と怪我をするというので「けが石」ともいわれ、孔

のあいている石は「馬つなぎ石」といわれている。

また、今から九十年程前の昭和四年に行われ

た耕地整理まで旧八字童子之城は、畑地で御堂

があったという。ここがいわゆる姫屋敷跡すなわ

ち、男大迹王(後の継体天皇)の母君である振姫

の御屋敷と伝わる場所である。

昭和四十一年から始まった県営土地改良工事

によって稲作地であった童子之城に境内にあった

「けが石」と「馬つなぎ石」を移転し、「振姫終焉の

地」の石碑は平成五年春江町と地元姫王地区に

よって建立された。

現在、楠木が大きく成長し、「振姫終焉の地」は

一幅の絵を思わせるような美しい情景を醸し出

している。(芳)

大石コミセンだより

12/14 (水)

コミセン講座(後期) 洋風しめ縄づくり 石黒香代子講師



どの作品も、とても素敵に仕上がりました。



行こうよ コミセン!! 「吉川壽一氏企画展」

1/4(水) ~ 2/28(火)

SYOINGARTIST 吉川壽一氏の十二支の作品を市内 10 カ所のコミセンで展示し、合わせてスタンプラリーを開催しました。大石コミセンのカフェスペースにも「虎」の作品を展示。多くの方がコミセンを巡ってスタンプを集めていました。

資源ごみ	回収場所	利用時間
蛍光灯・電球・乾電池(充電式) ※ボタン電池は、処理場での発火のおそれがあるため、なるべく販売店の回収 BOX を利用してください。	大石コミセン敷地内 非常階段下 灰色の箱とカゴ(○印内) ※袋から出して入れる	いつでも利用可
使い捨てライター ※危険ですので電池の回収箱の中に捨てないでください。	大石コミセン 玄関右側 の 青い箱(○印内) ※中身を使い切ってから入れる	開館時間中のみ

コミセンでは左記の回収をしています。マナーを守ってご利用ください